

授業科目 音声障害

【担当教員名】 亀田和夫	対象学年 3	対象学科 言語
	開講時期 前期	必修・選択 必修
	単位数 1	時間数 15

【＜一般目標：G I O＞】
発声器官特に喉頭に起因する話し言葉の障害を音声障害という。
正常な発声についての既知の知識を整理し、声の評価について学ぶ
これらの認識の上で音声障害を惹き起こす疾患について学び、障害の治療について理解して行く。

＜行動目標：S B O＞
1. 発声とその障害についての基礎知識を確かなものとする
2. 発声障害を惹き起こす疾患について学ぶ
3. 音声治療について適確な知識を得る

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	発声のしくみ	1	講義、スライド
2	発声の規定要因	1	講義、スライド
3	声の評価	2	講義、スライド
4	音声障害を来す疾患（1）	3	講義、スライド
5	音声障害を来す疾患（2）	3	講義、スライド
6	音声障害の治療	4	講義、スライド
7	喉頭摘出の音声リハビリテーション	5	講義、スライド
	S		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	音声障害	刈安誠	建帛社	2001年2730円
参考書	音声障害の臨床マネジメント	浜村真理ほか	医歯薬出版	2001年 4600円＋税
その他の資料				

【評価方法】 平常の学習状況と定期試験の結果を総合評価する	【履修上の留意点】 音声障害と音声障害演習は随時時間を交換して行なう
----------------------------------	---------------------------------------